

「ピンク色」をシンボルカラーとした、
岡山地区の**227系500番代**をラインナップ!!



227500系 (Urara) 基本セット (2両)



227500系 (Urara) 増結セット (2両)



227500系 (Urara) 基本セット (3両)

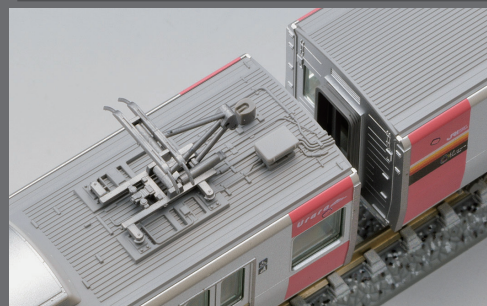


227500系 (Urara) 増結セット (3両)



行先の点灯には、常点灯基板による白色LEDを使用し、カラープリズムによりフォグライトは橙色（だいだいりう）で、テールライトは赤色で点灯します。また、これらは編成連結時を考慮して「ON-OFFスイッチ」により、点・消灯を可能としています。

●先頭車前面の転落防止幌は、形態を重視した先頭用と、編成どうしを連結した際のカーブ走行時に支障しない連結用のパーツ2種を用意（前面写真は先頭用、連結写真は連結用）、貫通路幌枠と併せて各セットに付属しています。また、先頭車運転台側には胴受けが小型の密連形TNカブラー（SP）を装備し、各車の連結面側はオプションのボディマウント式密連形TNカブラー（SP）の取り付けに対応しています。



●225系100番代などと同様に、幕板部の行先・種別表示器が一体形となった車体側面では、ホーム状況確認カメラの準備工事の形態を再現しています。また、JRマークと各種のロゴマークは印刷済みとしています。なお、このモデルでも前頭部と車体側面の異なる質感を塗装により再現しています。

●ヒューズボックスの横にある形態が特徴的な避雷器は、本アイテム用として新たに製作の上、採用しています。

JR西日本227系は、長く運用されていた国鉄時代の115系や105系などを置き換えるべく、京阪神エリアで既に活躍していた225系をベースに、2015（平成27年）年3月から広島地区で運転を始めた新しい近郊電車です。同系は一方の台車に走行用モーターを搭載した0.5M方式を採用、3両（クモハ227+モハ226+クモハ226）と、2両（クモハ227+クモハ226）のオールM編成で組まれています。同系は「Red Wing（レッドウィング）」の愛称が付与されて「赤色」を配した、広島地区用でセミクロスシート仕様の0番代に続き、2019（平成31）年3月には「緑色」をイメージカラーとした、和歌山・奈良地区向けでロングシート仕様、ワンマン運転機器装備の1000番代2両編成が導入され、さらに2023（令和5）年7月には岡山地区に、「Urara（うらら）」の愛称が付され、イメージカラーを「ピンク色」とした、セミクロスシート仕様500番代の投入が始まり、同番代は当初の運行区間より拡大が図られています。

トミックスでは、この227系シリーズの内、既に0・1000番代を製品化しましたが、新たに岡山地区で活躍する500番代を加えます。現在運行されている列車すべてに対応するため、ラインナップは2両と3両の基本セットの他、2両と3両の増結セットの4種となります。基本セットのモーター車にはM-13モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを、トレーラーには新集電システムを採用し、いずれも銀色車輪を用いています。また、基本セット2種には、増結セット2種にも対応する車体番号の転写シートと、交換用の前面種別・行先表示パーツを、増結セット2種には前面種別・行先表示パーツのみを付属します。

227500系 Urara

- JR 227500系近郊電車 (Urara・2両) 基本セット (2両)
<98155> 予価¥14,080 (税込)
- JR 227500系近郊電車 (Urara・2両) 増結セット (2両)
<98156> 予価¥10,010 (税込)
- JR 227500系近郊電車 (Urara・3両) 基本セット (3両)
<98587> 予価¥17,050 (税込)
- JR 227500系近郊電車 (Urara・3両) 増結セット (3両)
<98588> 予価¥14,300 (税込)

JR西日本商品化許諾済

5月発売予定